



**seishin**

**Preview**

---

**103**

---

誠信プレビュー

---

目次		
〈崇高〉の聖地	桑島秀樹	3
Preview 読者の皆様へ		7
Review 「精神医学」に関する本		15

桑島 秀樹

## 〈崇高〉の聖地

——愛蘭土紀行（1）ゴールウェイ



2004年ちょうどクリスマスの日午後、僕はひとり「異界」から荒海を越えやってきた「ネッド」—〈崇高〉の美学者E・バーク（Edmund Burke, 1729-1797）の愛称一の祖先を想って、ゴールウェイ湾の暗い海に臨んでいた。ここアイルランドは古名で「冬の国」ヒベルニア。風が強まり急に雪時雨となる。意外にも、灰褐色の天空を透かして太陽が丸くくっきりと見えていた。コリブ川の急流が絶えまなく注ぐ大西洋をじっと見つめ続けた。陽が傾きはじめたとき、水平線がぼうっと光りはじめる。つぎの刹那、ぼわあっと黄金色に輝く「幻の島」が現れた。この島こそ「常若の国」ティール・ナ・ノーグ（Tír na n-Óg）だ、と思った。

この最果ての地の自然と人々の過酷な歴史は、司馬遼

太郎（『街道をゆく—愛蘭土紀行』）が言うよう、かえって人々を信仰深くさせるのだろうか。生と死、大地と海が交じりあった究極の姿がそこにはある。ちょうどJ・ジョイスが、wake という語に託された二重の意味—「通夜」（死）と「目覚め」（再生）—を意識して、20世紀の言語芸術の至宝『フィネガンズ・ウェイク』を書きあげたように。アイルランドに残る古いケルト神話では、「西の海のかなた」には—W・B・イエーツが民話蒐集によって広めたように—永遠の魂が棲むティール・ナ・ノーグがあるという。一説に、この「常若の国」は水底にある死者の世界とも。その存在を信じ旅立った者しか達しえない蜜の流れる黄金のユートピア。だから、キリスト教よりもっと根の深い、土俗的でそれゆえかえって普遍的な信仰のにおいがする。エリユシオン？ むしろハデス？ 竜宮城？ ニライカナイ？ あるいはふだらくせん補陀落山？

\* \* \*

その祖をフランスに求められる英国ノルマン貴族ド・ブルゴウ（William FitzAdelm de Burgo/de Burgh）が、1171年、アイルランドへの第一歩を記す。ヘンリー2世率いる代表的な征服アングロ＝ノルマン人としての上陸だ。ド・ブルゴウは、ゲール語のド・ブルカ（de Burca）、さらに英語のバーク（Burke/Bourke）となり、特にこの島の西部一帯で「コナハト地方のバーク」と呼ばれるほど土着・繁栄を遂げる。この末裔こそ、18世紀を生きた僕らの「ネッド」というわけだ（なお、彼の直系の祖先は、島南西岸の町リムリックを経て、さらに内陸へと南下。17世紀後半、祖父の代にはコーク州ブラックウォーター溪谷—E・スペンサー『神仙女王』の

舞台！一に落ち着き、やがてネッドが生まれる。これはまた別の「聖地」の話として書こう。

\* \* \*

じつは昨年5月、僕は『崇高の美学』（講談社選書メチエ）という処女作を上梓した。自分の辿ってきた感性的な来歴と、ライフワークたる「美学」—原語のラテン語 *aesthetica* は「感性の学」の意—への想いを、そこに思いっきり詰め込み、めくるめくスパークを期待したつもりである。

拙著の内容を簡単に紹介しよう。まず石ころの「凝視」という原体験から話をはじめ、西洋美学での〈崇高〉の歴史を概観。そのあと山岳風景論に焦点をしぼり、「地」へと沈潜するまなざしを「地質学の美学」と規定。この「地」へのまなざし（「触覚的」でもある）に基づく〈崇高〉を、非人間的なテクノロジー批判へと結びつけた。最終章では、原爆のヒロシマにも言及。痛苦の徹底凝視による現代文明批評をも試みた。

\* \* \*

拙著に通奏底音として響くものこそ、18世紀のアイリッシュ「ネッド」が記述し、体現した〈崇高〉の美学なのだ。彼の後半生は、大ブリテンを代表する国会議員—とりわけ反革命の「保守主義者」—としてその名を馳せた。しかし、彼の実人生とその思索展開を探ると、彼の「保守主義」が、たとえば現代の「ネオコン」とはまったく異なるものであったことがわかる。

バークを、自由・平等・博愛を謳ったフランス革命に突進した「ドン・キホーテ」だと安易に断じたとき、そのナイーブさこそ冷笑の対象となる。バークは、アメリカ植民地の自由貿易を擁護し（印紙税撤廃）、東イン

ド会社の横暴なインド支配を糾弾した（総督ヘースティングズ弾劾）。彼は、公人としては、宗主国・英国のエスタブリッシュメントたらんとした。じっさい国会議員となった早い段階で、ロンドン郊外ビーコンズフィールドに、無理な借金までしてジェントルマンの証たる地所（パラディオ様式の大邸宅付き）を購入している。だが私人としては、属国・アイルランド—カトリック刑罰法の圧政下にあった—の詩魂を受肉した「慎慮」の文人であった。後にバーク全集を編んだ文明批評家 M・アーノルドも、バーク思想はそれがアイルランド問題に触れる際にもっとも価値があると言っている。

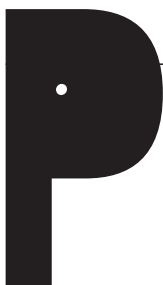
こんなわけで、「保守主義」を含むバーク哲学の核心を、彼の前半生を彩った「美学」（1757年の『崇高と美の観念の起原をめぐる哲学的探究』に結実）から、なかならず、その〈崇高〉の原風景から探ってみたいと、ずっと考えてきた。「ネッド」の道程に即して〈崇高〉の聖地をたどる旅こそ、僕のつぎの仕事。だからまず、〈崇高〉黎明の地、ネッドの祖先が最初に根を下ろしたアイルランド西海岸から語りはじめたわけである。ここはヨーロッパの西の絶壁。岩と海と風と人とがぶつかり、交感する場所。ゴールウェイ湾に浮かぶアラン島の物語—J・M・シングの紀行文『アラン島』、R・フラハティのドキュメンタリー映画『アランの男』を見よ！—は、この地のエッセンスを伝えてあまりある。

（くわじま ひでき / 広島大学大学院准教授・美学）

# 読者の皆様へ

## 誠信書房出版案内

---



---

小社の出版物は全国の主要書店の店頭にてお求めいただけます。店頭がない場合には注文にてお取り寄せください。

直接送付をご希望の場合は、お名前ご住所（お届け先）、電話番号、ご注文の書名、冊数を明示のうえ、電話、FAX、e-mail (sei@seishinshobo.co.jp)にてお申し込みください。代金引換郵便にてお送りいたします。送料は1回につき一律200円（税込）です。お受け取りの際に代金（価格合計+消費税+送料）を郵便局係員にお支払いください。

公費でのご購入などで、代金引換郵便が不都合な場合には、ご一報ください。

小社の新刊書および既刊書は、インターネットのホームページでもご案内しておりますので、ご利用ください。

本誌をご希望の方は、直接小社にお申し付けください。定期的にお送り（無料）いたします。

---

〒112-0012 東京都文京区大塚3-20-6

電話 03-3946-5666 Fax 03-3945-8880

<http://www.seishinshobo.co.jp>

---

2009年1月15日刊行

# 憂うつな青年たち

青年期のうつ病の認知と治療



H. S. コプレウィッツ 著 上島国利 監訳

バカ騒ぎの後の殺人，十代の母親による新生児殺しなどは青年期のうつ病との関連が指摘され出している。不機嫌，だるそう，絶望しているようだなどの憂うつな若者はうつ病を疑った方がよいであろう。著者は事例を中心に児童青年期の精神医療の立場から早期発見と治療の重要性を指摘する。最新の抗うつ薬と処方を紹介，うつ病関連用語の解説も親切で関連職種の人にも分かりやすく書かれている。

- 1 診断—うつ病
- 2 十代の脳
- 3 不安障害とうつ病
- 4 発病のリスク
- 5 トンネルを抜けて
- 6 ストレスとうつ病
- 7 危機介入
- 8 外来治療の限界—入院を考えると
- 9 青年期の躁うつ病
- 10 大学入学，そして衝突
- 11 自殺という悪夢
- 12 治療について

Harold S.Koplewicz：ニューヨーク大学医学部精神医学科副部長・臨床小児科教授  
かみじまくとし：国際医療福祉大学教授

A5判 378頁 / 定価 4830円（本体 4600円＋税）

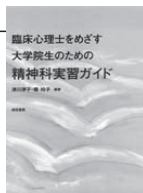
ISBN978-4-414-42861-2



2009年1月30日刊行

臨床心理士をめざす大学院生のための

# 精神科実習ガイド



津川律子・橋 玲子 編著

7割弱の大学院生が行う精神科実習について、大学側、受け入れる病院側、そして病院スタッフの立場からの率直な提言を掲載し、精神科実習の基本と必要性について明らかにした。臨床心理学系の大学院生はもちろん、受け入れる現場の臨床心理士、そして実習生を送り出す大学人にとっても示唆となり、また、臨床実習のガイドライン作成のための資料ともなる一冊。

---

## 第Ⅰ章 臨床心理実習における精神科実習の意味

- 1 臨床心理士になるための指定大学院における実習カリキュラム
- 2 臨床心理実習の達成目標
- 3 臨床心理士志望大学院生が実際に実習に行っている学外機関
- 4 精神科における実習でなければ得られないもの
- 5 義務化されてくることによる問題点
- 6 未来に向かって

## 第Ⅱ章 精神科実習の実際

- 1 実習前に考えておきたいこと、準備しておくべきこと
- 2 大学病院精神科での実習
- 3 大学病院精神科での実習を終えて
- 4 総合病院精神科での実習：当院における取り組み
- 5 精神科病院での実習：単科精神病院の場合
- 6 精神科病院での実習を終えて：精神科臨床はすべての基本
- 7 実習病院と大学院との関係と臨床実習の検討

## 第Ⅲ章 いろいろな立場からみた精神科実習

- 1 精神科実習担当者から
- 2 送り出す教員の立場から
- 3 実習生の立場から：統合失調症患者との出会いを通して
- 4 精神科医師からみて
- 5 精神科看護師からみて

---

つがわりつこ：日本大学文理学部心理学科教授、日本臨床心理士会副会長

たちばなれいこ：新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科教授・臨床心理センター長、

日本臨床心理士養成大学院協議会理事

---

A5判 250頁 / 定価 2625円 (本体 2500円 + 税)

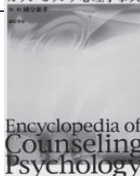
ISBN978-4-414-40049-6

---

2008年11月25日刊行

# カウンセリング心理学事典

カウンセリング心理学事典



國分康孝 監修

原点 (generic counseling) から特定分野 (specific counseling) まで全 13 分野に分け、それぞれの課題を解説した、カウンセリングのすべてが把握できる事典。ことばや事項の説明・解説にとどまらず、援助活動 (カウンセリング) の質を高めるための研究活動・方法を提示。各項目では、カウンセリング心理学の視点からの研究課題にも言及。実践家や研究者をはじめ、カウンセラーを目指すすべての人に必携の一冊である。

- 
- 第 I 章 カウンセリング心理学と関連分野との比較 (16 項目)
  - 第 II 章 カウンセリング心理学の哲学・思想的背景 (18 項目)
  - 第 III 章 リレーション (21 項目)
  - 第 IV 章 アセスメント (26 項目)
  - 第 V 章 ストラテジー (25 項目)
  - 第 VI 章 インターベンション (26 項目)
  - 第 VII 章 教育カウンセリング (24 項目)
  - 第 VIII 章 産業カウンセリング (18 項目)
  - 第 IX 章 福祉カウンセリング (17 項目)
  - 第 X 章 非行カウンセリング (16 項目)
  - 第 XI 章 医療カウンセリング (19 項目)
  - 第 XII 章 カウンセリング・リサーチ (17 項目)
  - 第 XIII 章 カウンセリング心理学の教育 (12 項目)
  - 第 XIV 章 人と業績 (91 人)

---

こくぶ やすたか：東京成徳大学副学長

A5 判 596 頁 / 定価 5040 円 (本体 4800 円 + 税)

ISBN978-4-414-30511-1

---

2008年10月25日刊行

# 図説 精神分析を学ぶ



前田重治 著

催眠研究から精神分析の道に入って五十余年、フロイト派として出発した著者が、現代の精神分析学を学んできた過程をふり返り、今日の精神分析について展望する。加えて、すでに紹介してきた図表三百点から代表作を抽出し、さらに新たに三十点の図表を増補。これらを芸論になぞらえながら、著者の体験から得られた精神分析の精神と技術の本質を書き下ろした。巻末に「精神分析年表」と「精神分析の系譜」を付す。

---

序章—フロイトとの出会い

- 1章 催眠法の時代—無意識を知る
  - 2章 自由連想法を学ぶ—教育分析体験
  - 3章 精神分析応用論—「純金」と「銅」
  - 4章 二者心理学の導入—現代の精神分析へ
  - 5章 精神分析治療のポイント—「洞察」から「語り直し」へ
  - 6章 精神分析の治療的機能—芸論に学ぶ(1)
  - 7章 精神分析の技能—芸論に学ぶ(2)
- 結び—わが道をふり返って

---

まえだしげはる：九州大学名誉教授，医学博士

A5判 204頁 / 定価 2940円（本体 2800円 + 税）

ISBN978-4-414-40048-9

---

2009年2月25日刊行

# 学校安全と子どもの心の 危機管理

教師、保護者、スクールカウンセラー、養護教諭、指導主事のために  
藤森和美 編著



子どもたちの日常は以前と比べものにならないくらい多くの危険に満ちている。事故や災害に出会った子どもたちへの緊急に支援が必要とされる心と体の問題を取り上げる。優先順位を付けて、何をどうすべきかを専門家がテーマ別にアドバイスする。緊急事態に際して子どもの心の傷を広げないためにすべきことが一目で分かるように工夫して書かれている。

- 
- 1 章 学校安全とは
  - 2 章 「死」をどうやって伝えるか
  - 3 章 死の局面に際して
  - 4 章 いじめの危機管理
  - 5 章 不登校
  - 6 章 虐待
  - 7 章 性暴力被害を受けた子どものケア
  - 8 章 性の安全と健康
  - 9 章 非行問題
  - 10 章 いじめ予防のストレス・マネジメント

---

ふじもり かずみ：武蔵野大学人間関係学部教授，臨床心理士

B5判 142頁 / 定価 2415円（本体 2300円 + 税）

ISBN978-4-414-40050-2

---

2008年12月15日刊行

# キャリアアップ 学級経営力

ハプンスタンス・トレーニング 中学校編



蘭 千壽・高橋知己 著

本書は学級経営のスキルアップのトレーニングに役立つように工夫されている。その特徴は第一に、学級の状況を分析し四つに類型化して考えることを提案していること。第二は事例を読む、分析する、書き込みながら整理する、解説を読みながら考察を深めるという演習スタイルをとっていること。これらによって参加しながら考えることができるように工夫されている。教員の免許更新講習会や学級経営に関する講習会のテキストに好適の一冊。

## [解説編]

- 第1章 これからの教員に求められる「力」は何か
- 第2章 あなたの学級はどのタイプ？
- 第3章 ハプンスタンス型指導

## [実践編]

- 第1章 自主的な生徒たち——タイプⅠ：創発型学級を検証する
- 第2章 いじめ・固定的な人間関係に悩む学級  
——タイプⅡ：階層型学級を検証する
- 第3章 教師主導の学級（無気力あるいは押さえつけ）  
——タイプⅢ：専制型学級を検証する
- 第4章 教師が学級を壊して行く？  
——専制型（タイプⅢ）から階層型（タイプⅡ）へ
- 第5章 変わる学級  
——階層型（タイプⅡ）からリーダーシップ型（タイプⅣ）へ、そして創発型（タイプⅠ）へ
- 第6章 中学校というフィールド

あららぎ ちとし：千葉大学教授

たかはし ともみ：岩手県滝沢村立姥屋敷小学校教諭

B5判 132頁 / 定価 1995円（本体1900円＋税）

ISBN978-4-414-20219-9

2008年11月8日刊行

## 臨床心理士の歩みと展望



日本臨床心理士資格認定協会 20周年記念事業委員会 編

1988年の創設から、20周年を迎えて、その歩みを再確認し、未来の発展に資する。第Ⅰ部は、文部科学省や日本心理臨床学会、日本臨床心理士資格認定協会や関係団体の代表者の寄稿から成る。第Ⅱ部は仙台での心の健康会議の記録。山折哲雄氏の基調講演は、死刑制度の是非を問いながら現代日本の窮屈さを問いつけ、日本古来の知恵を語る。シンポジウムでは超高齢社会における臨床心理士の役割が各論者の立場から提言される。

四六判 254頁 / 定価 2100円 (本体 2000円 + 税)

ISBN978-4-414-40366-4

2009年1月23日刊行

## 子ども家庭福祉論



柏女霊峰 著

本書は、第8版を数えた『現代児童福祉論』のリニューアル版。2009年度より社会福祉士の養成課程カリキュラムが変更になることから、書名も目次構成も刷新した。本書は、平成21年施行の「保育所保育指針」、平成20年11月末に成立した「改正児童福祉法」、「改正次世代育成支援対策推進法」を盛り込んだ最新版。児童福祉法や関連法の成立から現代に至る変遷、また各改正により何がどう変わったのか、平成20年改正が施行された後の展望など、分かりにくい法改正について易しく解説する。

かしわめ れいほう：淑徳大学総合福祉学部教授・臨床心理士

A5判 222頁 / 定価 2415円 (本体 2300円 + 税)

ISBN978-4-414-60143-5

レビュー誠信書房出版案内

R

テーマ

「精神医学」に関する本

2007 年刊行

## 知っておきたい精神医学の基礎知識

サイコロジストとコ・メディカルのために

上島国利・上別府圭子・平島奈津子 編

精神疾患はもちろん、診断学、症状学、治療法、処方薬の効能や禁忌、関連法と制度やチーム医療の在り方など、「これだけではぜひ知っておきたい基礎知識」を網羅している。

A5 判 494 頁 / 定価 3990 円 (本体 3800 円 + 税)

ISBN978-4-414-42860-5

2008 年刊行

## うつ病の心理

失われた悲しみの場に

内海 健 著

病いを語る言葉はどんどんフラットになり、ストレスや過労が原因とされ、あるいはモノアミン仮説がいまだに幅を利かせる。潜在的には常に死の影がつきまとう病者である彼らと向き合うために、著者は病の確かな道標と心理への深い洞察を求めつつ、臨床の言葉を再興する。

四六判 270 頁 / 定価 2940 円 (本体 2800 円 + 税)

ISBN978-4-414-42919-0

2006 年刊行

## 自傷行為とつらい感情に悩む人のために

ボーダーライン・パーソナリティ障害 (BPD) のためのセルフヘルプ・マニュアル

ロレーヌ・ベル 著 井沢功一朗・松岡律 訳

読者は、本書に収められたエクササイズに記入して行く過程で、自分と向き合い、自傷行為とは違う癒やしに気づくだろう。不安定な状態からの一步を踏み出すことを後押しする一冊。

A5 判 314 頁 / 定価 2940 円 (本体 2800 円 + 税)

ISBN978-4-414-41417-2

seishin preview 103  
2009年1月30日発行

株式会社 誠信書房  
〒112-0012  
東京都文京区大塚 3-20-6  
電話 03-3946-5666  
FAX 03-3945-8880  
<http://www.seishinshobo.co.jp/>

Paper: グラフイーエコ